

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

運営推進会議にて実施 令和 7 年 1 月 21 日

社会福祉法人こうほうえん

グループホームなるみ（にこにこ家族・だんだん家族・ぽかぽか家族）

事業所番号 3170201093

所在地 鳥取県米子市奥谷 1182-1



自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム なるみ 令和7年1月21日 3ユニット分

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日互恵互助の読み合わせ実施 理念の共有、意識するようになった。 今年度互恵互助も更新され新たな気持ちで読むことが出来ている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より奥谷の行事も復活をし、利用者とともに参加できた。また地域の方より入居者へ声を掛けていただき、交流もできた。日頃の交流も復活させたい	地域とのつながりとして「なるみ通信」を毎月発行し続けている。自治会行事が復活したことで、更に交流を深めていきたい。なるみ通信の発行範囲を広げていくのもよいのではないかな		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度はスタッフの参加も調整していった。会議の内容はリーダー会で報告、チーム運営に生かしている	運営推進会議にて利用者状況を報告している。実際のケアなど訪問して観てもらうことも今後はしていく		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者とは顔なじみの関係になっている。 スタッフが直接交流をすることはないが、相談連絡は常に出来ている	市の担当者が今年度変更になっているので、特に顔の見える交流が必要		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催、協議を実施。「虐待の目チェックリスト」を全職員が実施をし、自分を見つめ直す		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法令で定めてある、してはいけない行為等しない努力、自分たちでチェックリストを使って、自分を見つめ直す努力をされている
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人研修や様々な研修を行い、職員間でも意識をして防止に努めている。お互いに言える風土を大事にしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記のチェックリストを使い、お互いに言い合えることも大事である。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会で学ぶ機会があり、必要に応じ関係機関と相談をしながら進めるようにしている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約書や重要事項説明書を基に説明をし、不安等を伺ってから締結をしている。またカンファレンス時にも伺うようにしている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご意見箱の設置、カンファレンス来苑時等にご意見など伺うように声をかけている。伺った内容はチームや施設全体で共有し報告している		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご意見箱は設置してあるも、投函なし。具体的に話をする事で、ご意見や要望を言っていたことが多い。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	いろんなことを、管理者主体ではなく、職員へ移管し職員中心に進めるようにすることで、色々な意見を聞くことが出来てきた			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎年自己管理表に目標を立案し業務に取り組んでいる。年2回の面談もある。資格取得や研修参加の支援を行っている		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個人のやりがいに繋げるため、面談しながら、次のステップへ導くようにしている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修など受けてほしい人へアプローチする。eラーニングなどリモート研修に参加できるよう体制が出来ている		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎年レベルアップのため、法人内外の研修案内を個人へ発信。受講を勧めている
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	現在はZOOMでの会議を実施。集合での機会はないが、ネットワークは出来てきている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	常にコミュニケーションをとりながら関係性を気づいている。一緒に行うまた、利用者同士でレクが出来る環境も整えている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	なるみ通信やお便りを郵送。面会が再開、地域を問わず面会が出来るように配慮している	なるみ通信の配布・掲示先の開発としてはどうか		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の思いを聞き、プランに反映している。また、日々選択が出来る言葉かけをして、意思を伝える環境に努めている		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の気づきを記録、3ヶ月に1回モニタリングを行いチーム会やミニカンファレンスにて課題を検討している、現状に合った支援方法に常に変更が出来ている	認知症チームケア研修を受講し、認知症の行動・心理症状質問票をもとに、状態を数値化し、BPSDの状態を知り、共有することで適切なケアに繋げるよう、対象者を決め実施した	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ケアカンファレンスは定期的を実施出来ている。 何をもちて充分にできているのか
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	PC記録に変更中。様子の入力に不十分な点など、職員間で共有し検討、モニタリングに反映させていけるようしている		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない PCの入力も慣れてきた。 1日の様子が分かる記録にするよう投げかけ中
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況状態に合わせて、多職種(理学療法士・言語聴覚士等)と連携を図り、支援が出来ている。	状態の変化とともに、専門職の評価をもらい、利用者にあった支援が出来るようにしている。依頼もPC管理	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	公民館活動や地域交流が少しずつ参加出来るようになった。ボランティアの受け入れも積極的に行い豊かな暮らしに繋げていきたい	コロナ前のように戻っていないが、少しずつ外へ出向く、ボランティアを受け入れるなど計画を立てていきたい	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の継続または、希望の協力医療医に変更。内科・精神科・皮膚科・歯科等と連携をして適切な医療へ繋げている		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には情報提供書を持参。医師看護師連携室と早期退院に向けて連絡を常に取りっている。また今年度から協力医療機関連携を米子医療センター・総結、毎月情報共有の会議実施	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和6年6月より米子医療センターと協力医療機関連携を結び、毎月情報共有の会議を実施中。大きい病院と連携が出来たことで安心感がある
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスごとに意向の確認をし、事業所でできることを説明している。また医師もカンファレンスに参加		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 今年もすでに3名看取りを実施。常に家族の意向を確認しながら、支援方法を検討し対応をしている

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応について、フローチャートを活用し対応方法を伝えている。救急法は年1回講習、吸引器の使用方法は年2回実施している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災の避難訓練は年2回、水害の避難訓練も全員避難の訓練を実施。前回の反省点を改善しBCPへつなげる。エリアの協力体制も確認できた	8/20の避難訓練をみて、火災報知器盤の確認、利用者への声掛け避難誘導、最後の報告までが順をなした対応ではなかった。新人もベテランも関係ない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から想定外の出来事にも対応できる様にしてほしい。何時でも何かあるかもしれないと思う気持ちが大切である
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳について、チーム会やリーダー会で話し合いをしている。毎月目標を決めて取り組み、反省などを記入して見つめ直している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待のチェックリストを各自が評価し、見たこと聞いたことがあるにチェックする項目に目を向け、重点目標にして、取り組むことをしている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの体調や気持ちに配慮して支援をしている。様々な役割を準備し、やりたいことを手伝ってもらっている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	汁の具材切や盛り付け、配膳や下膳片づけなどしている。手作りおやつなど一緒に作っている。また、行食事食を企画し楽しんでもらっている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ることは、一緒にしてほしい
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養補助食品を活用したり、好みの飲み物を同って提供したり、嚥下状態に合わせた対応も出来ている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後自室での支援が出来ている。口腔状態によっては専門職に繋げて支援をしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口から食べることは、重要なことです。いつまでも食べる意欲に繋げるよう口腔内の清潔に努めてほしい

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを確認しトイレでの排泄が出来るように支援をしている(リフトを使用して座っている)。便秘予防も個々にあった対応をしている		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄は大切なことです。いろいろな工夫をされているようですね
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のタイミングに合わせて入浴の案内をしている。つるべ(入浴用リフト)の導入により重度の利用者も浴槽に入れるようになった			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じて自室にて休息をとっている。環境面も整えて安眠できるようにしている(室温、明かり、清潔) 眠りスキャンを活用			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の薬の一覧表を作成して、情報共有が出来ている。症状の変化は都度医師に報告し対応している		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の病気を知り、薬の内容の知り同時に分量等の把握をしている。状態変化等は直ぐに、医師へ報告をしている。誤薬をしない様仕組みを構築している
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた役割を提供、嗜好品も選択してもらっている。外への気分転換の散歩等出来ていなかったが、ゲームや脳トレなど利用者同士でも出来るように支援している	毎日楽しみとして様々なゲームや歌、体操を取り入れ、活気のある生活をしている。地域の方や子供たちとの交流もされていることが分かる		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や植物園など外出が出来ていない。感染対策を行いながら、本人の希望を叶えられるように外出の支援を復活させていきたい	出来ない中でも、工夫をされているのではないかと。最近行きつけの美容室へ出かける方や家族の家に戻り会食を楽しまれる方もある		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手元に持たたい方は持っている必要は殆どない。また持っていることも忘れていない。	持っている方に対しての評価で良いのではないかと。		

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に添えるように支援をしている。電話でしたり、時には手紙を送っている。娘さんと手紙のやり取りも出来ている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の飾りつけをしたり花を生けたり季節感が感じ入られる空間を作っている。利用者の作品を展示したりして制作意欲にも繋げている 写真を玄関の掲示し日頃の様子を覗いてもらうようにもしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニットで、デイルームの飾りつけを行っている。 季節の行事も取り入れ、利用者と一緒にに行い、居心地よく過ごせるようにしている
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日意向に沿った対応をしている。また、習慣として選択が出来る言葉かけをしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には生活歴や趣味など本人や家族に伺いケアに繋げている。またプランの更新時には意向を聞いてプランに反映をさせている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内科、皮膚科、歯科と連携を深め、日々の状況を共有し支援が出来る。また、専門職にも関わってもらい評価を随時受けている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面・医療面は専門職と連携を取り観察をしている。環境面でもその方にある配置をして安全面にも配慮している
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇に花を供える。庭の草取りをするなど自分のペースで出来ている。認知症の進行に伴い出来なくなった方もある			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、馴染みのものを持ってきてもらうようにしている。また、家族との写真等も掲示している。孫さんのアルバム等喜んで何度も見返している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を伺い、馴染みのものを持参していただくことで、その事を話題にすることで、昔を思い出し生活の継続が出来るように努めている

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年は地域の祭りに参加できた。運動会や公民館祭りなど参加できるようにしていきたい	コロナ感染症の影響は大きいですが、徐々に戸外に出かけ、地域の催し物などにも積極的に参加していきます。感染対策も忘れずに。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なことを提供することで、自分もやりたいと意思表示をされ一緒に行うことが出来ている。月1回のフラワーアレンジメントも希望者が参加している			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の会話をしたり、ゲームをしたりして、大きな笑い声を聞くことが出来ている		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の得意なことが出来るように配慮し、また、集団でする時も一人一人の活躍の場を作っている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域へ出かけることが出来ていない。同じホームの他ユニットの利用者との交流は喜ばれている	今年度は、自治会活動などに参加することが出来た。また地域のボランティアの受け入れも出来るようになってきた		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の役割を積極的に行い、様子を伝えることで信頼関係を構築。家族の面会や毎月行事を予定し、ボランティアを受け入れ楽しみのある生活をおくれるようにしていく	この地域からの申し込みが増え、入居者も地域の方が多く、知っている方への声掛けもしてくれている。日々の暮らしを「なるみ通信」として毎月発信を継続している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この地域になくはならない施設になるよう、私たちの活動をもっと発信続けます。ボランティアの受け入れも増やし、外部の視点からもサービスの質を追求していきます